



福島医大病院ニュースレター

編集・発行/附属病院患者サービス向上委員会

第5号

発行日 平成20年10月1日

〒960-1295 福島市光が丘1番地/TEL (024) 547-1111(代) ホームページ <http://www.fmu.ac.jp/byoin/index.php>

「チーム医療」の充実を目指して —副病院長あいさつ—



副病院長 棟方 充

一昨年より引き続き中央部門担当副病院長を拝命いたしております。現代医療は日々複雑性を増しており、患者さんを中心に、医師、看護師、薬剤師、事務局、そして、様々な特殊技能を持つ各種技師が一つのチームとして「病（やまい）」に立ち向かうことが必要になっています。このようなニーズに対応するため、本

年から中央部門に診療支援部を新設しました。この組織は、放射線技師、検査技師、臨床工学技師、理学療法士、作業療法士などの皆さんを包括する組織で、看護部・薬剤部とともに外来・病棟での診療を側面より支える人々の組織です。毎月、各診療科、看護部、薬剤部の代表を加えた診療支援部委員会を開催し、それぞれ部門間の意見調整を行うことにより、高度な医療をより円滑に行うことを目指しています。既に、入院・外来患者の時間差採決、単純レントゲンの昼時間帯撮影、採血業務への診療科からの応援等々、色々な局面で調整の成果が現れてきているように思います。これからも皆さんの力を結集した、患者さんにやさしい「チーム医療」の推進をよろしくお願い致します。

臨床腫瘍センターの「がん相談支援」

臨床腫瘍センター センター長 石田 卓

福島医大病院には臨床腫瘍センターがあり、重要な業務の1つが、がん全般の相談支援です。患者さんやその家族の方から、医療機関の相談や在宅療養・セカンドオピニオンなど悩み事の相談などを

なんでも受け付けています。専門の相談員が2名おり、電話とFAX(兼用番号024-547-1078)やメール(gsoudan@fmu.ac.jp)で相談に応じます。直接いらっしゃる場合は、病院1階の整形外科外来のお隣にあります。

相談は当院を受診中だけでなく利用可能です。治療についての相談が多いのですが、漠然とした不安に対するアドバイスや、がん遺族の方々の精神的なサポートにもできる限り対応させていただきます。またがんに関する一般書籍の貸し出しや、がん診療ガイドラインの本、乳がんや小児がんなどのパンフレットもあり、無料で差し上げているものもございます。情報を検索するパソコン・プリンターもご自由に使用可能です。

なお相談員は医師ではありませんので、医学的に専門的な内容は該当する診療科などに照会することがありますのでその点はご了承ください。

がんで困っている患者さん、家族の方々のご利用をお待ちしております。



写真は患者さん向けの書籍やパンフレットの本棚です

第5号のなかみ

- 2ページ・・・ ○「心臓と血管の内科」と「血液の内科」
—「循環器内科」と「血液内科」の紹介—
- 「福島県立医科大学アニバーサリー2008」について
- リハビリテーションセンター工事着工
-
- 3ページ・・・ ○岩手・宮城内陸地震発生時の
ドクターヘリの活動について
- 「きいてください 院長さん」投書箱から
-
- 4ページ・・・ ○こんにちは!「ビルメン」です
- 病院ボランティア「けやきの会」りれー通信 3

清潔と快適をクリエイトする。



病衣・付添寝具

〔ご利用・お問合わせ先〕

株式会社 同仁社
医大リネン室

電話 024-547-1111
内線 3081

マチのほっとステーション LAWSON

ローソン福島県立医科大学附属病院店(エレベーターホール隣)
ローソン福島県立医科大学店(福利厚生棟内)

「心臓と血管の内科」と「血液の内科」 —「循環器内科」と「血液内科」の紹介—

内科学第一講座 准教授 **石橋 敏幸**

旧第一内科は現在2つの診療科「循環器内科」と「血液内科」の名称で診療を行っています。血液は骨髄で造られ血管を流れて全身の臓器と細胞に酸素と栄養を運び、全身に血液を送り出すのが心臓です。心臓と血管の病気を扱っているのが循環器内科で、造血器腫瘍を中心とする血液疾患を血液内科が扱っています。この2つの診療科について簡単に紹介致します。



1. 循環器内科について

急性心筋梗塞と不安定狭心症は生命におよぶ病気で、その治療は時間が勝負です。胸痛が出現し6時間以内（ゴールデンタイム）にカテーテル治療を受けることが理想で、当科は24時間体制で対応しています。特に本年1月の救命救急セン

ターの開設とドクターヘリ運航により福島市内はもとより県内各地から多くの患者さんが運ばれカテーテル治療を受けています。また、頻脈性不整脈に対するカテーテル心筋焼灼術、心室頻拍や心室細動の致死性不整脈に対する植え込み型除細動器手術および難治性心不全に対する心臓再同期療法のできる県北唯一の診療科です。

2. 血液内科について

造血器腫瘍である急性・慢性白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫等に対する分子標的療法を含む化学治療と造血幹細胞移植を駆使した治療を行っています。当科は県内で唯一の非血縁者間骨髄移植施設です。そして、当科で採取した骨髄は全国の病院へ運ばれ骨髄移植に使われ、多くの患者さんの生命を救っています。また、心アミロイドーシスなどの心疾患にも造血幹細胞移植を行い成功した経験もあり、難治性疾患に移植を用いた新たな治療にも挑戦しています。

「福島県立医科大学アニバーサリー2008」について

おかげさまで、福島県立医科大学は、この光が丘の地に移転して20周年を迎えることができました。また、看護学部開設10周年、公立大学法人化大学の節目の年でもあります。大学では今年を記念の年と位置付けして、記念事業を展開いたしております。

この記念事業の第一弾として、去る6月22日（日）に、福島県知事をお招きして記念式典を開催しました。この式典の特別企画として、「知事と語る福島県立医科大学の未来」と題する座談会を開催しました。医療看護の将来を担うこととなる学生と県知事、学長を交えた座談会で、率直な意見を聴くことができ、大学教育や地域医療のあるべき姿を考える良い機会となりました。

大学では、現在、「学生が魅力を感じる将来像」、「県民が期待する将来像」、「職員が働く意欲を高める将来像」を指し

示す「大学ビジョン」を策定作業中です。併せて、大学のイメージデザインやキャッチフレーズ等についても一部公募して制作いたします。

これらの成果は、来る11月2日（日）に実施する、「学生による音楽会」及び「学生の考える大学の将来像等のプレゼンテーションコンテスト」の発表に併せて、ご報告するよう準備を進めております。



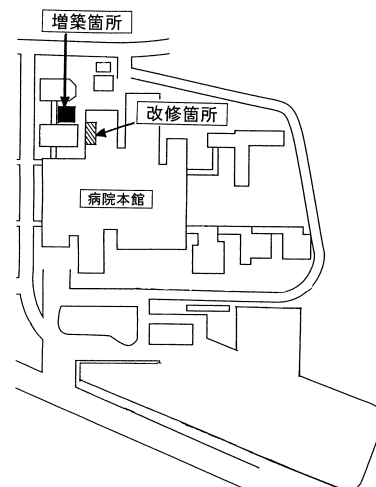
リハビリテーションセンター工事着工

リハビリテーションセンターの機能充実を図るための建築工事を8月より着工し平成21年3月に完成する予定です。

工事は大きく分けて改修と増築を行います。改修部分は現在の附属病院棟の理学療法室、機能訓練室、水治療室等の範囲を全面改修します。増築部分は鉄筋コンクリート造2階建てで床面積は約300㎡で今回改修を行う西側の教職員駐車場部分に増築します。

改修部分と増築部分は、渡り廊下で接続され一体的に利用できる形となり、新たな機能を追加し、より幅広い対応ができるリハビリテーションセンターが完成します。

工事期間中は、現在の建物を使いながらの施工となりますので、音や振動の発生、改修する部屋の使用制限を行う等御不便や、御迷惑をおかけしますが御理解いただきますようお願いいたします。



岩手・宮城内陸地震発生時のドクターヘリの活動について

救命救急センター **島田 二郎**
佐藤めぐみ

今年1月に東北初のドクターヘリが当院に配備され、これまで130件を超える出動がありました。当院のドクターヘリは、県内で発生した重症患者の元へ、できる限り早く医療スタッフを送り、早期治療で救命率を上げることを目標としたシステムですが、近隣県での災害時には、災害医療の早期開始のためにドクターヘリを活用することが運航要領に記されています。6月14日に発生した岩手・宮城内陸地震の際は、この規程に則りヘリで出動することができました。災害時の医療派遣もスピードが重視されます。その点、ヘリはうってつけです。病院内での調整の後、10時22分に、医師1名、看護師1名、機長、整備士各1名の計4名で現地に飛び立ち、災害時に指定されるDMAT（全国に配備されている災害時の医療支援チーム）参集病院である大崎市民病院には11時23分に、全国のDMATに先立って到着しました。その後、DMAT現地本部の立ち上げ、駒ノ湯温泉建物倒壊現場への現場派遣、バス転落事故による重症患者さんの岩手医大への搬送業務などの活動を行いました。活動時間は10時間、このうち飛行時間は3時間30分で、総飛行距離は約700kmでした。駒ノ湯温泉

建物倒壊現場は残念ながら生存者を見つけ出すことができませんでしたが、陸路が寸断された地域へ医療派遣が行えることを、大災害ではじめて示した貴重な体験でした。また、重症患者さんが多数発生した場合に、現地周辺の病院だけで対応できないときに、救急車の数倍のスピードで転院搬送できる機動力もヘリならではのものです。今回の派遣はとて有意義な派遣となりましたが、とても特殊な派遣であり、日頃は、県内の活動でがんばってまいりますので、ドクターヘリを見かけたら、是非応援してください。



「きいてください 院長さん」 投書箱から



「きいてください 院長さん」には、1日平均1.3件（平成19年度）の投書が寄せられ、その中で特に多いのが、「施設、設備に関すること」と「職員の接遇に関すること」です。今回は当病院の接遇改善への取り組みについて紹介します。

当病院では、北原副院長兼看護部長の下に患者サービス向上委員会を設置し、職員全体の接遇・身だしなみの向上に取り組んでいます。

患者サービス向上委員会では接遇向上のための講習会を開催しています。昨年度は民間企業の方を講師に招き、「接遇マナーの基本」などについて講義を受けました。

また、患者さんからの投書について、職員全員に注意を促すため院内報を随時発行しています。昨年度は「身だしなみの注意点」、「患者さんと向き合って話すこと」、「エレベータの利用法」などについて十数回発行しています。

さらに各部門で接遇向上推進委員を選任し、接遇に関するモデルになれるような活動をお願いしています。

これからも、接遇改善に積極的に取り組んでいきますので、忌憚のないご意見をお寄せください。

お知らせ

**医療費支払い窓口が時間延長され、平日・休日とも
8時45分から22時までご利用いただけるようになりました。**

ただし、土日祝日等に退院される患者さんの料金計算はこれまでと同じく平日の8時半から18時の間に承ります。

こんにちは! 「ビルメン」です

こんにちは。毎日患者さまの身近で病院内の清掃をさせて頂いています、「ビルメン」です。私達は常に清潔で衛生的な生活環境を提供し、快適な療養生活がすごせる場所を保持する為、また、外来患者さまの増加に伴い作業時間を延長する等、ニーズに応えるべく励んでおります。

皆様は目にした事がありますか、作業区域によりモップの色別（青・緑・白・赤）に伴いウエス（拭取り布）も同色になっていることを。それらは毎日消毒、洗濯、乾燥を十分にさせ再度使用します。これにより、菌の繁殖を防ぎモップが臭いということはないはずです。またトイレの壁に下げたある「点検表」はどうでしょう？ 担当者が清掃のたびに記録することになっています。最近トイレ内の張り紙の効果か、汚れたらいち早く控え室に連絡を頂けるようになり皆様にご不快を与えることも少なくなったかと思われまます。

昨年より3ヶ年で病院内の床をきれいにするという事で、剥離洗浄作業を中心に実施しております。ご協力を頂き、外来・病室ともに徐々に進めておりますのでよろしくお願いいたします。

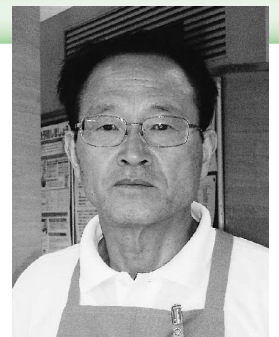


病院ボランティア「けやきの会」 りれー通信 3

おかげさまで退職後、意識改革が出来ました

私は臨床検査技師として福島医大検査部をはじめ38年間勤務し、退職後ボランティアとして医大附属展示館の案内をしておりました。その頃、病院に不慣れな患者さんの案内や車椅子の患者さんの介助をするボランティアの募集が始まりましたので、平成13年4月から「ボランティアけやきの会」に入会し、週2~3日活動させていただいております。毎日の活動の中身は在職中には経験することの出来ない場面、患者さんの立場、別の角度からものを見ることができ、意識改革が出来ました。仕事には、患者さんの車椅子介助等ありますが、中には資格が必要な行為もあることを知りました。そこで、活動を充実させ

るために、ホームヘルパー2級の資格を取りました。また、車椅子に乗った年長いた患者さんが薬の出来るのを待っている時、「どうされました」と言葉をかけ、世間話の相手をさせていただくと表情がにこやかになります。家では話の相手もしてもらえず、話をする事が無いとのことでした。



本多 信治

私たちは、ボランティア活動をする中で患者さんに叱られることもあります。しかし、楽しく活動し、細く長く続けて行きたいと元気に案内しております。



こころときめいて、くらしかがやいて。

東邦銀行

ご利用・お問い合わせは **福島医大病院支店**

窓口営業時間：平日午前9時から午後3時

電話 024-548-5331 (受付時間：平日午前9時から午後5時)

スターバックスコーヒー福島県立医科大学附属病院店

営業時間 平日 7時~20時
土日祝 9時~19時

アメリカシアトル生まれのスペシャルティコーヒーストア。高品質のアラビカ種コーヒー豆から抽出したエスプレッソがベースのバラエティ豊かなエスプレッソドリンクやペストリー、サンドイッチをお楽しみいただけます。

